

# セトロン 編柵

セトロン編柵とは、クロスネットを編柵工として使用したものです。鉄線の芯金を入れたプラスチック製の帯状を編織（クロスネット）したもので、0.5m～1.0m（一般的には、0.75m）の間隔で杭（一般的には木杭）を打ち込み、杭間に連続してクロスネットを張設して壁面を構成した簡易な土留柵で斜面表土の流失を抑え、緑化促進の目的で施工されます。



ストーガードと編柵の組み合わせ

## セトロン 編柵の特長

### ■地形になじむ

地形になじみ等高線に沿って施工が可能です。

### ■透水性と土砂流失抑止

独自の網目構造は、透水性に富み且つ石礫は勿論土壌などの流失をよく抑えながらも、保湿効果があります。

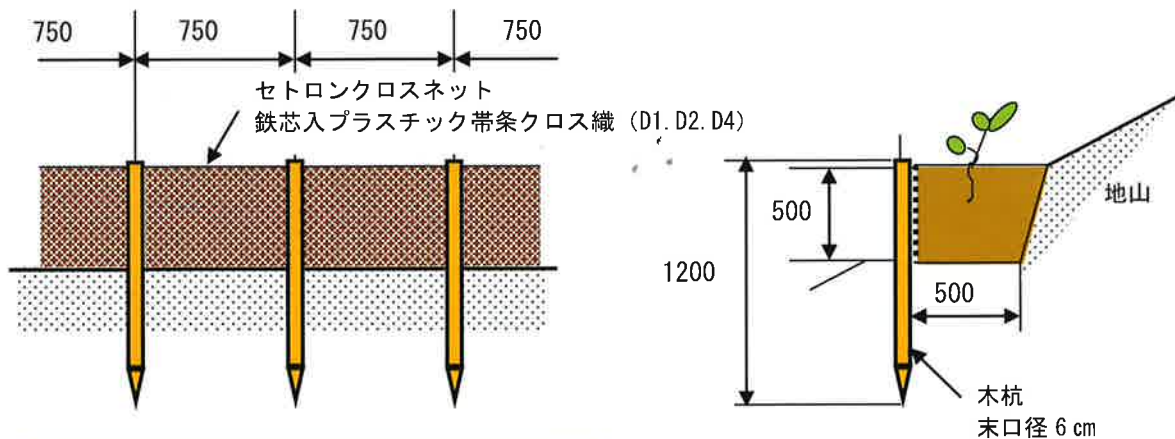
### ■設計は遮閉率を選んで

土砂の形状に応じて、目つぶし、10mm目、14mm目の3種類の網目を用意しています。

### ■納期が迅速

資材が軽量で運搬が容易です。上下に表示線を織り込んでありますから施工が確実です。

## 標準構造図（本図は、-050を示す）



## 規格&仕様

規格	D1（遮閉率 99%）		D2（遮閉率 70%）		D4（遮閉率 60%）	
	梱包単位	梱包重量	梱包単位	梱包重量	梱包単位	梱包重量
-030	20.1m	34 kg	20.1m	26 kg	20.1m	21 kg
-050	10.1m	28 kg	15.1m	31 kg	15.1m	24 kg
-060	10.1m	33 kg	15.1m	37 kg	15.1m	30 kg
-100	6.1m	32 kg	8.1m	33 kg	10.1m	33 kg